



学校だより

令和 6 年 12 月 吉日
上越市立有田小学校
校長 野田 晃

感謝

冷雨が続きます。朝、登校してくる子どもたち、「立派だなあ」と思います。白い息で手がかじかむ中、歩いてくるのですから。とても、遠いところから歩いてくる子どもたちもいます。私も歩いてみましたが、雨具を着て歩く学校までの道のりは遠く、とても大変です。1年生は保育園や幼稚園の頃、こんな長い距離を歩くことはなかったはずです。1年生にとって、登下校するだけで大きな仕事を成し遂げていると言っても過言ではないと思います。

特に感心するのは、高学年の班長・副班長です。低学年の歩く速さに合わせて、ゆっくり、ゆっくりと引率しています。自分のペースで歩くことができれば、もっと気持ちよく学校に来ることができるだろうに。また、雨雪の冷たさから逃れ、いち早く暖かい教室に行けるだろうに。班長・副班長としての責任を果たそうとしているのでしょう。低学年のために頑張っているのでしょう。頭が下がります。ありがたいです。

保護者の方々、地域部の方々、地域の方々、多くの方々から交通安全指導や見守りをしていただいています。笑顔で触れ合う姿、荒天の中で取り組む姿、感謝しかありません。子どもたちのために、これだけ多くの方々に取り組んでいる有田地区は、本当に素晴らしい地区だと思います。特に、大通りが多く、交通量も激しいこの学区で大きな事故が起きないのは、保護者や地域の方々からの献身的な取組のお陰だと言えます。ありがとうございます。

ケガや病気など様々な理由で、お家の人の送迎で登校してくる児童もいます。学校に行く準備をするだけで大変だった子もいるでしょう。辛い気持ちで学校に来た子もいるでしょう。よく頑張って学校に来ることができたなあ、と思います。また、朝のとても忙しい中、子どもに寄り添っているお家の方々も大変だと思います。学校を信じて子どもたちを連れてきてくれているのだと思います。ありがたいです。また、必要な時に必要な愛情を注ぐことはとても大切だと思います。いつか、こうやってお家の人が送り迎えをしてくれていたことの意味を子どもたちも分かってくれる日が来るのだらうと思います。

なお、第1駐車場ででの乗り降りは、とても危険です。車から降りる子どもたちは他の車の陰になり見えにくいのです。また、すぐに仕事場に向かいたいのか、子どもを降ろした後、急発進で駐車場から出る保護者の方もいらっしゃいます。送迎の基本は第2駐車場で乗り降りすることになっています。第1駐車場は、どうしても必要な時にお願いします。また、「車椅子マーク」の駐車場は体が不自由な方専用の駐車場ですので、普通の送迎等での使用はご遠慮ください。使わなければならないときに、使えないことがありましたので。

有田小学校の教育活動が新聞等にたくさん取り上げられました。生活科や総合的な学習、外国語活動など、子どもたちの活躍、とても素晴らしいです。特色ある教育活動ができるのは、保護者や地域の方々のご理解ご協力あつてのことです。感謝申し上げます。3学期も、豊かな体験、確かな学びを目指して教育活動を推進してまいります。子どもたちのために、有田小学校の教育の充実のために、ご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。